



世界の絶景から、故郷・八女の光へ。

令和7年度 まちづくり提案事業 成果報告

藤木ケンタ写真展 「around the shine」

写真でまちづくり
代表 藤木ケンタ

(日経ナショナル ジオグラフィック写真賞2015優秀賞受賞)

会場① 八女市役所 around the shine *yame



- 八女の自然・神社・茶畑など地域を切り取った15点を展示。
- 展示プレートには「八女杉」を使用。
- 壁面の背景には伝統工芸の「竹細工すだれ」を採用し、空間全体で八女の素材を演出。

会場② 旧八女郡役所 around the shine *new world



- 広大な土間空間に、ヒマラヤやアフリカなど世界の作品約30点を展示。
- 長い布を吊り下げたインスタレーション形式。
- 来場者が「世界を旅するような体験」を創出。



空間を繋ぐ仕掛け

最終日の夜には来場者を招いたスライドショー上映会を開催。
また、世界の山々で構成した写真集「ZINE M」を制作・頒布。

郷土の再発見

「地元こんなにキレイな場所があるなんてハッとした。」

多くの市民が、日常に埋もれていた八女の圧倒的な美しさに気づく契機となった。

誇りの醸成

「改めて八女のすばらしさを再認識した。」

地元の風景が世界レベルのアートとして展示されることで、市民の郷土愛が深く刺激された。

視点の転換

「世界と八女がつながっていると実感した。」

ヒマラヤの絶景と八女の自然を対比させることで、「故郷を世界目線で見ると」という新しい視点を提供した。

まちづくりにおける最大の成果は、市民一人ひとりの「心の中にある故郷の風景」がアップデートされたこと。

メディアによる魅力の波及



西日本新聞（令和7年8月25日付・筑後版）にて「故郷八女 美しさ活写」として大きく掲載。藤木氏のストーリーと共に、八女の魅力が市内外へ広く発信された。

首都圏との繋がり



「東京八女ふるさと会」にて展示とスライドショーを実施。八女にゆかりのある首都圏の人々に故郷の風景を届け、関係人口の創出に寄与。

地域文化への継続的貢献



地元の「黒木ぼんぼりフォトコンテスト」の審査委員を務めるなど、展示終了後も地域と深く関わる。

写真を通じた「まちづくり」の輪を、
これからも八女から世界へ広げていきます。

令和7年度まちづくり提案事業 成果報告 完了